

## 令和元年度第2回千葉東警察署協議会

### 1 開催日

令和元年11月27日（水曜日）

### 2 開催場所

千葉東警察署

### 3 出席者

・協議会側 7人 ・警察署側 13人

### 4 議事要旨

#### (1) 第18回警察署協議会代表者会議開催概要報告

青木 茂 会長（若葉区長）

#### (2) 若葉区における治安情勢等について（9月末一部10月末）

ア 犯罪の発生状況（9月末現在）

イ 電話de詐欺認知件数等

ウ 犯罪抑止対策

○ 電話de詐欺対策

・被害防止功労者に対する署長感謝状の贈呈

・予兆電話認知時における迅速な初動対応

○ 都賀コミュニティまつり警戒

○ 防犯キャンペーン

○ 若葉区との協同による防犯パトロール隊交流会

○ 小学生に対する見守り活動

エ 犯罪検挙状況（9月末現在）

○ 重要犯罪の検挙状況

○ 重要窃盗犯の検挙状況

オ 主な検挙事例

○ 往来妨害被疑者の検挙

○ 合同捜査による広域空き巣事件被疑者の検挙

○ 男女間トラブル絡みの暴行・傷害事件4件を検挙

カ 110番受理状況と今後の取組について

○ 110番受理状況（9月末現在）

○ 今後の取組（安全・安心な市民生活の確保）

・積極的な職務質問による検挙活動の強化

・街頭活動強化による犯罪抑止対策の推進

・少年健全育成への取組

・交通死亡事故抑止活動の強化

・高齢者の安全・安心総合対策の推進

・情報発信活動の推進

・移動交番の効果的運用

キ 千葉東警察署管内（若葉区）の交通情勢（10月末現在）

- 交通死亡事故発生状況（死者数）
- 人身事故発生件数
- 死亡事故抑止に向けた施策の推進状況
  - ・ 飲酒運転、横断歩行者妨害違反に重点を置いた取締りの推進
  - ・ 交通安全教育の推進
  - ・ 台風被害に伴う交通規制状況
  - ・ 高齢運転者対策の実施

ク 県民の期待と信頼に応える強い警察の若手育成について紹介

## 5 委員からの質問・意見・要望等

### (1) 電話de詐欺防止対策について

#### 【意見】

野呂地区の学校では、父兄参観とは別に祖父母参観があり、孫世代からお嫁さんに至るまで家族の会話が弾む。孫世代から電話de詐欺などを具体的に説明できるような機会を設けてはどうか。

#### 【回答】

孫世代が、祖父母に電話de詐欺の注意喚起を呼びかけるアイデアは素晴らしいです。ぜひ活用させていただきます。生活安全課では、

- ・ 自治会、老人会等における講話
- ・ 各種キャンペーンにおける広報啓発活動
- ・ 電話de詐欺防犯アドバイザーによる電話作戦
- ・ ポスティング作戦

を実施しています。

ポスティング作戦で配布しているチラシの裏面にメッセージ欄を作り、孫世代に祖父母に宛てたメッセージを書いてもらい渡してもらうのも良いと思います。

### (2) 区役所2階の各種コーナの利用と各種イベントの開催について

#### 【意見】

警察官募集活動時期には、警察のコーナーを設けている。これから確定申告の時期になり、多くの方が区役所を訪れるため、高齢者の運転免許証の自主返納につながる講話や電話de詐欺被害防止のビデオを流したり、各種啓発チラシなどを置いたり、各種イベントを開催してみたい。

また、免許証返納に伴い自転車利用に切り替える高齢者もいると思うが、自転車に対する安全教育も大切になるのではないかと。

#### 【回答】

各課と調整を図り、ぜひ活用させていただきます。

高齢者の方に自転車に乗らないで下さいとは一概には言えませんので、免許返納時に窓口において、自転車事故の発生形態や注意する点などが記載されたチラシの配布や各種キャンペーン、交通安全講話などを通じて、自転車に関する交通事故防止のポイント等について注意を促し、電動アシスト自転車のこぎ始め時の危険性なども注意喚起して行きます。

### (3) 児童や中高生の健全育成に向けた講話について

**【意見】**

簡単に犯罪に手を染める若者が少なくないと感じる。犯罪に関して罪の意識が薄れてきているのではないか。もっと被害報道をしたほうが社会の注目も浴びるし、罪を犯した者も事の重大さに気づくのではないか。人の優しさ、温かさは、その人の人生を変えてあげられると思う。加害者や被害者を減らすためにも様々な分野の方の知恵を借りて、健全育成につながる講話や教室の開催してみてもいいかが。

**【回答】**

県警では、社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくりの施策として「命の大切さを学ぶ教室」や「ひまわりの絆」プロジェクトを推進しています。

資料にもありますが、飲酒運転で、わが子を失った経験を語る被害者遺族の講演や体験記の朗読などもあります。引き続き心に訴える教室を推進してまいります。